

## 6 平成 22 年度 横浜市立図書館の目標と振り返り

平成 22 年度に中央図書館と 17 の地域図書館が目標として進めた事業の内容等と評価は次のとおりです。

**基本目標：市民の課題解決や暮らしに役立つ情報を提供し、積極的な図書館サービスを展開します**

目標	具体的取組（何を、いつまで）	達成状況(平成 23 年 3 月 31 日現在)	指標達成値
<b>目標 1</b> <b>市民が必要とする</b> <b>資料・情報を</b> <b>収集します</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●横浜市立図書館全体の資料の保存と活用のあり方を見直し、図書館資料の収集、保存、廃棄基準について再検討します。(通年)</li> <li>●蔵書構成を見直し、欠本補充等により基本図書を整備します。(通年)</li> <li>●資料寄贈の仕組みを検討し、資料収集に活かします。(通年)</li> <li>●地域図書館へオンラインデータベースを導入します。(地域図書館、5月)</li> <li>●地元機関・市民の協力のもと、地域に関する資料・情報を積極的に収集・保存します。(通年)</li> <li>●より利用しやすく探しやすい図書館とするため、館内表示の改善等の工夫をしていきます。(通年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『蔵書再構成 5 か年計画』を策定し、一部取組を開始しました。また併せて保存と活用のありかたを見直しました。(3月)</li> <li>・地域図書館の年間収集計画の策定を支援し、寄贈資料も活用しながら定番図書、専門書の補強、欠本補充を実施しました。</li> <li>・『横浜市立図書館資料管理規則』等を改定し、手続き等について整理しました。(3月)</li> <li>・市職員からの寄贈受入のシステムを確立したほか、市内企業や個人からの寄贈キャンペーンを実施し、子どもの本等の寄贈を受けました。</li> <li>●地域図書館全館でオンラインデータベース『聞蔵Ⅱビジュアル』の利用提供を開始しました。(5月)</li> <li>●地域の郷土史家と協働して郷土に関する展示会、講演会等による郷土情報提供を実施し、地域に関する図書の収集に努めました。</li> <li>●館内掲示を見直し、書架の移動や書架表示を整備しました。</li> </ul>	<p>入館者数 8,660,185 人 (97.1%)</p> <p>総貸出冊数 11,751,625 冊 (97.9%)</p> <p>寄贈図書受入冊数 39,098 冊 (110.0%)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <b>評価</b>  <b>B</b> </div>			
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     幅広い情報・資料の収集                      課題解決のための資料・情報の収集                      地域に関する資料・情報の収集                      利用しやすい環境づくり                 </div>			

※ 取組の評価について

評価は、図書館内の内部評価です。( ) 内は、前年度比です。

評価	内容
A	優れた取組があり、目標を大きく上回る成果があった。
B	目標どおり取組を実施し、目標を上回る成果があった。
C	目標どおり取組を実施し、一定の成果をあげた。
D	目標どおりの取組ができなかったため、十分な成果を上げることができなかった。
E	実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。

目標	具体的取組（何を、いつまで）	達成状況（平成 23 年 3 月 31 日現在）	指標達成値
<p><b>目標 2</b> <b>資料・情報と市民を結びつけます</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>評価</b></p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;"><b>C</b></p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>市民の学び・調査研究や課題解決への支援</p> <p>図書館の存在・機能・役割の広報</p> <p>国民読書年事業を始めとする企画事業の実施</p> <p>ホームページや印刷物などを利用した情報発信</p> <p>利用者への親切な対応</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民の学習や調査研究に対する支援や、市民の抱える課題の解決に役立つ情報サービス提供を進めていきます。(通年)</li> <li>● レファレンス事例を国立国会図書館レファレンス協同データベースを通じて、インターネットで発信します。(通年)</li> </ul> <p>※「レファレンス」…利用者の調べものや資料の相談などに対し、必要とする図書館資料の紹介や提供、情報入手の手助けを行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 図書館ホームページを迅速に更新するとともに、課題解決に役立つリンク集や企画事業・地域資料案内の掲載等のコンテンツを充実させます。(通年)</li> <li>● 案内カウンター「ヘルプデスク」を新設し、司書による読書案内・課題解決支援を充実します。(中央図書館、4月)</li> <li>● 国民読書年や地域のニーズに合った企画事業を進めます。(通年)</li> <li>● 未利用者に図書館機能をPRするため、移動図書館の機動力を活かし、ビジネス街におけるビジネス支援事業を開始します。(中央図書館)</li> <li>● 利用者へのあいさつ・声かけを励行し、親切・ていねいな対応に努めます。(通年)</li> <li>● 利用者のマナー向上に向けた働きかけを行います。(通年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 認知症介護講座などを関係機関と連携して、「図書館海援隊」事業を継続して実施しました。</li> <li>● 資料目録やテーマリストの改訂、「ワークライフバランス」「キャリアデザイン」などを作成(10件)するとともに、市民向けに情報検索講座を開催し、市民が必要な資料を自ら検索できるように支援しました。</li> <li>● 東日本大震災発生後、全館で生活情報を掲示しました。(3月)</li> <li>● 約 600 件のレファレンス事例を国立国会図書館レファレンス協同データベースに提供し、御礼状をいただきました。</li> <li>● 新聞・雑誌記事、論文、法令・判例、医療情報、震災・防災関連情報などのホームページのリンク集を開設しました。</li> <li>● 図書館ホームページで積極的に情報提供を行うとともに、企画事業については外部の広報媒体も活用し、幅広い広報を行いました。</li> <li>● 「ヘルプデスク」を1階に設け、中央図書館の総合案内を行うとともに、司書による読書案内・問題解決支援を行いました。</li> <li>● 国民読書年事業「ヨコハマ、本の虫宣言」キャンペーンを実施し、市民の読書活動の推進に努めました。</li> <li>● 周年記念事業を地域と連携して行いました。(金沢・港北・都筑・緑図書館)</li> <li>● 移動図書館「はまかせ号」によるみなとみらい・ビジネス地区への巡回を開始し、巡回場所ではビジネス書コーナーを設けました。</li> <li>● 全員が親切・ていねいな対応に努めるように、職員の打ち合わせ等において日ごろから確認を行いました。</li> <li>● マナー向上の展示を実施するとともに、図書貸出票に標語を記載しました。</li> </ul>	<p>レファレンス 受付件数 235,051 件 (108.6%)</p> <p>ホームページ アクセス件数 8,070,147 件 (99.9%)</p> <p>蔵書検索 アクセス件数 9,622,859 件 (109.3%)</p> <p>新規登録者数 80,277 人 (94.9%)</p> <p>記者発表数 54 件 (125.6%)</p>

目標	具体的取組（何を、いつまで）	達成状況（平成23年3月31日現在）	指標達成値												
<p><b>目標3</b></p> <p><b>「横浜市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を推進します</b></p> <table border="1" data-bbox="92 880 367 1290"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"><b>評価</b></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"><b>B</b></td> </tr> <tr> <td>児童サービスの推進</td> <td></td> </tr> <tr> <td>家庭・地域での子どもの読書の支援</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校教育及び学校図書館への支援</td> <td></td> </tr> <tr> <td>読み聞かせ等ボランティアの養成・支援</td> <td></td> </tr> </table>		<b>評価</b>		<b>B</b>	児童サービスの推進		家庭・地域での子どもの読書の支援		学校教育及び学校図書館への支援		読み聞かせ等ボランティアの養成・支援		<p>●平成20年度に策定した『横浜市立図書館児童サービス2か年計画』に基づき、図書館での児童サービスの推進、家庭や地域・学校での読書活動の支援を実施していきます。（通年）</p> <p>●福祉保健センター、子育て支援拠点等と連携し、おはなし会等の企画事業を実施します。（中央図書館・一部の地域図書館、通年）</p> <p>●子ども読書の日（4月23日）、読書週間（10月27日～11月9日）にあわせ、関係機関やボランティアと連携し、おはなし会や読書フェスティバル等の企画事業を実施します。（4月、10月～11月）</p> <p>●読み聞かせボランティア養成講座の実施、市内ボランティアグループへの研修講師派遣を行うなど、地域・学校での読書活動を積極的に支援します。（通年）</p>	<p>●『横浜市立図書館児童サービス5か年計画』を策定しました。</p> <p>●生涯学習文化財課・指導企画課とともに『第二次横浜市子ども読書活動推進計画』を策定しました。</p> <p>●新たに区役所・地区センターと連携して保護者を対象に読み聞かせ講座や読書相談を実施しました。</p> <p>●子ども読書の日、読書週間に関係機関やボランティア等と連携して企画事業を実施し、子どもの読書活動を支援しました。</p> <p>●参加しやすい土日に読み聞かせ講座・おはなし会を継続して実施しました。</p> <p>●読み聞かせボランティア養成講座を開催するとともに、ボランティアによる土曜日おはなし会での活動を支援しました。</p> <p>●教員向けの図書館利用研修のほか、学校図書館環境整備についての教職員の相談に対応しました。また学校図書館読書コーディネーターの養成・フォロー講座を実施しました。</p>	<p>児童書の 総貸出冊数 3,464,913冊 (99.9%)</p> <p>おはなし会等事業 の参加者数 25,587人 (105.8%)</p> <p>教職員向け 貸出冊数 21,837冊 (127.5%)</p> <p>読み聞かせ等ボラ ンティア養成講座 の受講者数 830人 (105.9%)</p>
	<b>評価</b>														
	<b>B</b>														
児童サービスの推進															
家庭・地域での子どもの読書の支援															
学校教育及び学校図書館への支援															
読み聞かせ等ボランティアの養成・支援															
<p><b>目標4</b></p> <p><b>市民や外部機関と連携し協働を進めます</b></p> <table border="1" data-bbox="92 1529 367 2022"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"><b>評価</b></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"><b>B</b></td> </tr> <tr> <td>地域で活動する市民との連携・協働</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の声が反映される仕組みづくり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企業との連携・協働</td> <td></td> </tr> <tr> <td>他機関（大学・研究機関・行政機関など）との連携・協働</td> <td></td> </tr> </table>		<b>評価</b>		<b>B</b>	地域で活動する市民との連携・協働		市民の声が反映される仕組みづくり		企業との連携・協働		他機関（大学・研究機関・行政機関など）との連携・協働		<p>●利用者会議の設置やボランティア交流会の開催等、市民の声を反映する仕組みづくりを全館で推進します。（通年）</p> <p>●図書修理、書架整理ボランティア等市民ボランティアによる図書館内の整備事業への参加を進めます。（中央図書館・一部の地域図書館、通年）</p> <p>●地元の商店街など、市民や地域と関連するさまざまな機関・団体と連携・協働し、企画事業や講演会事業等を実施します。（中央図書館・一部の地域図書館、通年）</p>	<p>●市民団体と協働して歴史散歩、児童書展示、歴史講座、おはなし会を実施しました。</p> <p>●図書修理ボランティアの活動を支援し、新たに図書修理ボランティアの募集を行いました。</p> <p>●APEC関連資料を全館で展示しました。</p> <p>●横浜F・マリノスと協働して展示会を実施しました。</p> <p>●環境創造局みどりアップ推進課と協働して事業を行いました。（港南・保土ケ谷・金沢・栄図書館）</p> <p>●神奈川県行政書士会、アジア調査会、理化学研究所、金沢動物園、大倉精神文化研究所、横浜ユーラシア文化館等、外部機関と連携して講演会、講座を開催しました。</p>	<p>市民参加の仕組み づくりを実現した 図書館数 17館 (地域図書館全 館)</p> <p>図書修理ボラン ティア養成講座の受 講者数 254人 (11館)</p>
	<b>評価</b>														
	<b>B</b>														
地域で活動する市民との連携・協働															
市民の声が反映される仕組みづくり															
企業との連携・協働															
他機関（大学・研究機関・行政機関など）との連携・協働															

目標	具体的取組（何を、いつまで）	達成状況(平成23年3月31日現在)	指標達成値							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の大学と連携して市民向け講座を開催します。(中央図書館)</li> <li>●図書取次サービス試行事業(区局連携事業)を継続実施します。(中央図書館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の大学と連携して、中央図書館で市民向け講座『よこはま大学開港塾2010』を、また市民向け講座、図書の展示等を開催しました。</li> <li>●図書取次サービス試行事業を継続実施しました。</li> </ul>								
<b>目標5</b> <b>これからの図書館を考える取組を進めます</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●横浜市立図書館アクションプランを策定します。(中央図書館、12月)</li> <li>●指定管理者制度導入の山内図書館の運営状況について、有識者等による評価委員会を設置し、導入効果を評価します。(中央図書館、3月)</li> <li>●管理運営費の節減に努めるとともに、広告事業等により自主財源の確保を図ります。(中央図書館、通年)</li> <li>●地域図書館長・副館長を対象とした研修を実施し、マネジメント能力の向上を図ります。(中央図書館、通年)</li> <li>●司書の人材育成計画を策定します。(中央図書館、12月)</li> <li>●利用者の多様なニーズに応えるため、司書の資質向上に努め、レファレンス対応・窓口対応等きめ細かい研修を実施します。(通年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『横浜市立図書館アクションプラン』を策定しました。(1月)</li> <li>●横浜市山内図書館指定管理者運営評価委員会を3回実施しました。(9月～3月)</li> <li>●中央図書館に「周辺案内地図」を設置し、また図書館カレンダーと図書貸出票に広告を記載し広告料収入と経費節減を図りました。</li> <li>●館長・副館長向けの基礎研修を実施し、マネジメント能力の向上を図りました。(5月)</li> <li>●司書がキャリア形成の段階に応じて能力を発揮できるよう『司書人材育成計画』を策定しました。(9月)</li> <li>●レファレンスや資料の研修を通して司書の資質の向上を図りました。</li> <li>●利用者の多様なニーズに応えるため、文書基礎研修や人権研修、窓口対応研修を実施しました。</li> </ul>	広告導入等における <b>歳入確保額</b> 489万円 (+125万円)  <b>節減額</b> 596万円 (+68万円)							
<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;"><b>評価</b></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>B</b></td> </tr> </table>	<b>評価</b>	<b>B</b>	<table border="1"> <tr> <td>図書館の中期的な目標についての検討</td> </tr> <tr> <td>次期図書館システムの検討に必要な課題の整理</td> </tr> <tr> <td>図書館の評価の仕組みの検討</td> </tr> <tr> <td>効率的な図書館運営の検討</td> </tr> <tr> <td>職員の資質の向上</td> </tr> </table>	図書館の中期的な目標についての検討	次期図書館システムの検討に必要な課題の整理	図書館の評価の仕組みの検討	効率的な図書館運営の検討	職員の資質の向上		
<b>評価</b>										
<b>B</b>										
図書館の中期的な目標についての検討										
次期図書館システムの検討に必要な課題の整理										
図書館の評価の仕組みの検討										
効率的な図書館運営の検討										
職員の資質の向上										

※ 取組の評価について

評価は、図書館内の内部評価です。( )内は、前年度比です。

評価	内容
A	優れた取組があり、目標を大きく上回る成果があった。
B	目標どおり取組を実施し、目標を上回る成果があった。
C	目標どおり取組を実施し、一定の成果をあげた。
D	目標どおりの取組ができなかったため、十分な成果を上げることができなかった。
E	実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。